



2024年11月8日

各 位

会社名 株式会社日本アクア
(コード1429:東証プライム市場)
住 所 東京都港区港南2-16-2
代表者 代表取締役社長 中村文隆
問合せ先 経営企画部長 小室昌彦
(TEL 03 - 5463 - 1117)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年11月8日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、本年2月14日の2023年12月期決算発表時に開示した2024年12月期（2024年1月1日～2024年12月31日）の通期業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2024年12月期通期業績予想の修正（2024年1月1日から2024年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	31,005	3,100	3,100	2,092	66.65
今回修正予想（B）	30,000	2,600	2,600	1,755	55.88
増減額（B-A）	△1,005	△500	△500	△337	—
増減率（％）	△3.2	△16.1	△16.1	△16.1	—
（参考）前期実績 （2023年12月期）	28,341	2,881	2,917	2,004	63.83

2. 修正の理由

① 売上高

戸建部門においては、各自治体が定める高気密性能を要件とした独自の住宅省エネ施策の広がりを好機と捉え、断熱施工に気密測定サービスを付加することで差別化を図り、施工棟数の増加を軸に市場シェア拡大に取り組みました。広域展開する大型ビルダーからの受注は堅調に推移している一方で、地域密着型工務店からの受注は伸び悩んでおります。特に9月以降に本格的な施工を見込んでいた新規大口先の施工が12月以降にずれ込んだこともあり、施工棟数は予想の94%程度にとどまる見込みです。また、施工単価は市場シェア拡大を目的とした価格戦略の実施に加え、高単価が期待できる断熱等級6の施工拡大が2025年以降になる見込みであること

から、ほぼ横ばいで推移すると予想しています。以上を踏まえ、通期見通しを 14,408 百万円から 13,450 百万円に修正いたします。

建築物部門においては、一部の物件で他社事情による前工程の作業遅延や原材料不足などが原因で着工遅延、いわゆる手待ちが発生しました。これらは第 3 四半期（2024 年 7 月 1 日から 9 月 30 日まで）以降、順次解消されていますが、すべての工事の遅れを取り戻すことは難しい状況です。これを踏まえ、通期見通しを 10,394 百万円から 9,890 百万円に修正いたします。

防水部門においては、期中に獲得した大型案件の売上寄与などにより、通期見通しを 695 百万円から 815 百万円に修正します。原料販売の通期見通しは当初予想通りの 2,235 百万円となり、その他部門については、足元の販売増を踏まえ、通期見通しを 3,271 百万円から 3,610 百万円に修正いたします。

以上の結果、売上高合計の通期見通しは 31,005 百万円から 30,000 百万円へと 1,005 百万円の減少となります。

② 利益

売上総利益については、施工体制強化を目的に当社の施工人員（工務社員と技能実習生の合計）を前期末比で 71 名、3 割強増加させましたが、主要な戸建部門と建築物部門の売上が予想を下回るなどにより、全体の売上総利益率は 23.9%から 23.3%に低下し、売上総利益額の通期見通しは 7,408 百万円から 6,980 百万円へと 428 百万円の減少となります。

営業利益については、物流拠点網の整備を予想以上に能動的に進めた結果、地代家賃を中心に販売費及び一般管理費の通期見通しが 4,308 百万円から 4,380 百万円へと 71 百万円増加しました。そのため、通期見通しは 3,100 百万円から 2,600 百万円へと 500 百万円の減少となります。

③ 配当予想（変更なし）

上記により、期初の業績予想の達成は困難になったものの、「建設業の 2024 年問題」に前倒しで対応し、強固な施工体制の構築を図ったことや、市場の拡大が著しい建築物部門および今後の成長が期待される防水部門への経営資源の配分を増やす経営戦略は、市場環境に合致していると捉えております。

1 株当たりの配当金につきましては、予想配当性向が 60.8%となり目標配当性向の 50%を大幅に上回りますが、2024 年 2 月 14 日の公表どおり、1 株当たりの期末配当金は 34 円のままとさせていただきます。

（注）上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上